

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会  
第 68 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2024 年 9 月 30 日(月) 13:30~17:00
2. 場所 OCL 東京会議室及び Webex によるオンライン会議
3. 出席者 (順不同、敬称略)  
(出席委員)木倉(主査)、浅見(副主査)、白井(幹事)、阿部、市橋、海老原、島、清水、高橋(淳)、  
樋口、藤沢、松本(務)、山根、渡邊、亘(15名)  
(代理出席委員) – (0名)  
(欠席委員) 山田(1名)  
(出席常時参加者)石川、大岩、堂守、広瀬、岡部(5名)  
(欠席常時参加者)影山、上良、高橋(秀)、村松、渡辺(5名)  
(オブザーバー) – (0名)
4. 配布資料  
F4SC68-1 第 67 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)  
F4SC68-3-1 第 99 回原子燃料サイクル専門部会議事メモ (キャスク関連)  
F4SC68-3-2 第 97 回標準委員会議事メモ (金属キャスク関連)  
F4SC68-4 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業状況について  
F4SC68-5 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 4 の作業状況について  
F4SC68-6-1 ご確認用 標準委員会のご意見に対する対応 改 1  
F4SC68-6-2 ご確認用 附属書 O 改定案比較表改 1 抜粋  
F4SC68-7 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 3 の作業状況について  
F4SC68-8-1 2024 年度倫理講習ご意見集約 R1  
F4SC68-8-2-1 標準策定 5 か年計画の作成について (2025 年度版)  
F4SC68-8-2-2 20240930(リサイクル燃料貯蔵分科会) 原子燃料サイクル専門部会  
標準策定 5 か年計画  
F4SC68-8-3 リサイクル燃料貯蔵分科会の現地開催について  
  
F4SC67-参考 -1 標準委員会等運営ガイドライン  
F4SC67-参考 -2 標準作成ガイドライン 2020 12
5. 議事  
幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の 2/3 以上の委員数を満足

している旨の報告がなされた。

- (1) 前回議事録確認
  - ・ 前回議事録(案)として F4SC68-1 の確認が行われ、コメントなく了承された。
- (2) 人事について
  - ・ 1名の作業会3委員(追加)が議決により承認された。
- (3) 標準委員会/原子燃料サイクル専門部会の活動状況
  - ・ 幹事より、F4SC68-3 シリーズに基づき、金属キャスク標準改定の標準委員会書面投票時のコメント回答に関して以下の報告があった。
    - 8月の原子燃料サイクル専門部会及び9月の標準委員会での審議の結果、エディトリアルな修正指示はあったが公開審査に移行することが決議された。
- (4) 作業会1の作業状況について
  - ・ 松本委員(作業会1主査)より、F4SC68-4に基づき、作業会1の作業状況について報告があった。
- (5) 作業会4の作業状況について
  - ・ 清水委員(作業会4幹事)より、F4SC68-5に基づき、作業会4の作業状況について報告があった。
- (6) 標準委員会時のご意見に対する対応について
  - ・ 清水委員(作業会4幹事)より、F4SC68-6 シリーズに基づき、標準委員会時のご意見対応について報告があった。
    - 句読点の修正をしたうえで、標準委員会に回答することが確認された。
- (7) 作業会3の作業状況について
  - ・ 藤沢委員(作業会3主査)より、F4SC68-7シリーズに基づき、作業会3の作業状況及び改定必要項目のアンケートに対する対応(途中経過)について報告以下のコメントを踏まえ、対応することになった。
    - 機械学会コンクリートキャスク構造規格との線引きについては、線引き具合で改定作業量に影響があるため、改定作業の早い段階で機械学会側と調整する必要がある。
    - 震災後の新規制基準により、特に外部事象が厳しくなっている。日本のコンクリートキャスク貯蔵システムの体系的な安全要件がどうあるべきかが人によって異なっており、分科会としてのコンセンサスが必要。そのため、必要な安全要件でコンクリートキャスクだ

けでは受け持てない事項などが見える化し、建屋等他の施設との役割分担や本システム固有のキャニスタ詰替装置の安全要件などを整理し、付属書等にまとめることが必要。

- 資料に示される専門家の必要性とは、原子力発電所の安全性の考え方について知見のあるプラントメーカーの方を考慮しており、議論の際は、ご協力をお願いしたい。
- 遮へい設計の本文に示される設計基準と付属書 7 に示される設計基準の考え方が少し飛躍している。金属キャスクのような明確な基準がないだけに理解しやすく見直す必要がある。

## (8) その他

### ① 倫理教育について

- ・ 幹事より、F4SC68-8-1 に基づき、分科会、作業会メンバーの倫理教育意見集約結果について報告があり、以下の事項をキーワードとして意見交換を実施し、倫理に対する理解を深めた。
  - 安全文化とコスト
  - アクティブ・バイスタンダー
  - 保安官と悪人の例え

### ② 標準策定5か年計画の作成について(2025 年度版)

- ・ 幹事より、F4SC68-8-2シリーズに基づき、標準策定5か年計画(2025 年度版)の提出時期(1月15日)及び現段階での当分科会分の案について報告があった。
  - 金属キャスク標準については、公衆審査の実績等を反映して見直すことが確認された。

### ③ リサイクル燃料貯蔵分科会の現地開催について

- ・ 幹事より、F4SC68-8-3 に基づき、次回分科会のカナデビア有明工場の現地開催について紹介があった。

### ④ 今後の予定

- 次回幹事会 2024年11月21日(木) 午後
- 次回分科会及び視察会 2024年12月5日(木)@カナデビア有明工場

以上